



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S
石巻広域クラブ通信 <No.119>
THE Y'S MEN'S CLUBS OF GREATER ISHINOMAKI
CHARTERED MAY28, 2016

YMCA-ISHINOMAKI-CENTER
KyuEikoyochienchinai2-12-3,Okaidokita,
Ishinomaki, 986-0854,Japan

〒986-0854 石巻市大街道北 2-12-3
旧栄光幼稚園 2 階 YMCA 石巻センター
電話 090-1373-3652(川上) 090-2365-7940 (清水)

2026 年9月号

E-mail : gishinomaki@gmail.com

E-mail: koichi6759@outlook.jp

== 2026-2027 年度 主題 ==

クラブ会長 阿部かよ子「東日本区大会の経験を活かし、次なるステップへ」
北東部部長 三田庸平（もりおか）「ユースの成長・笑顔をもとめて」
東日本区理事 山下真（十勝）「挑戦なくして進化なし」
アジア太平洋地域会長 ラチャン・マニカーン（タイ）「アジア太平洋地域をブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」
国際会長 ヨハン・v・エルトヴィク（フィンランド）「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」

<今月の聖句>

「信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残ります。その中で最も大いなるものは、愛です」
(コリントの信徒への手紙一 13:13)

<強調月間: EMC/YES>

2026 年9月第一例会・公開講演会プログラム

日 時 9 月 25 日 (金) 18:30~20:30

場 所 YMCA 石巻センター／オンライン

司会: 書記 川上直哉

1. 開会点鐘とあいさつ 会長 阿部かよ子
2. ワイズソング・ワイズの信条 一同
3. 今月の聖句と開会のお祈り 関川祐一郎

<公開講演会: 18:40~20:00>

4. 講師の紹介／櫻井育子様（プロフィールは 4 頁に掲載）
生涯発達研究所 TANE 代表/対話的書家・教育デザイナー
5. 講演 テーマ:「子どもの育ちを支える仕組みを
フランスに学ぶ」

6. 質疑応答

<9 月第一例会: 20:00~20:30>

7. 諸報告 担当者
①仙台 YMCA 報告 ②第 75 回国際大会（マレーシア・ペナン）参加報告 ③十勝クラブ創立 50 周年記念例会参加報告 ④もりおかクラブ井上修三ワイズ逝去についての報告
8. ハッピーバースデー
21 日: 大林健太郎さん 29 日: 川上直哉さん
9. ニコニコ 会計
「2026 熊本地震支援募金のために（第 2 回）」
10. 閉会あいさつと点鐘 会長 阿部かよ子

第 75 回 YMI 国際大会開催される!

IN 10-13 September Penang, Malaysia



石巻広域クラブ書記
APA-CE 事業主任

川上直哉

2026 年9月10日（木）から13日（日）まで、マレーシアのペナンで、ワイズメンズクラブ国際大会が開催されました。2 年前から「ドイ」での開催が定まっておりました。準備も進んでいたところに、中東情勢が急激に悪化し、ミサイルが飛び交う事態となっていました。そこで急遽、アジアに会場を変更したことでした。大会の成功そのものが、ワイズメンズクラブの国際性が発揮された成果そのものだったと思われます。（次頁へ）



■ 8 月データ/9 月第一例会・公開講演会プログラム、巻頭言（第 75 回ペナン国際大会）、8 月第一例会報告、9 月拡大役員会報告、公開講演会講師プロフィール、クラブスケジュール（9 月～12 月）、クラブ年会費納入のお願い、YMCA 報告、第 29 回チャリティーゴルフ案内

7 月例会出席	17 名	在籍会員数	17 名	各種記録	月実績	年度累計
メンバー	11 名	月間出席者	11 名	スマイル	11,500 円	11,500 円
ビジター・協力	3 名	メーキャップ	0 名	ファン	0 円	0 円
メネ・コメ・ゲス	3 名	月間出席率	65%	BF	0 円	0 円

会 長 阿部かよ子
副会長 清水 弘一
書 記 川上 直哉
会 計 石井 龍子
直前会長 石川 光晴
担当主事 半澤 明美
監 事 川上 恵

<前ページより>大会には、清水さんとソヨドさんと私、そして清水さんの姪っこさんが、参加しました。東西日本区全体からは70名余りが参加されました。仙台青葉城クラブの加藤さんの「株式会社 ワールドトラベル仙台」が、私たちを含む東日本区の15名で旅行団を組織してくださって、私が「団長」のお役をお預かりしました。大会ではブースを構え、ソヨドさんと一緒に取り組んでいる「ビレッジ・プロジェクト」のアピールをしてきたことです。また大会では「ブルー・ミュージック・クワイア」が結成され、私も2名の西日本区の方と一緒に参加しました。日曜日には礼拝説教も担当し、またたくさんの経験を積ませていただいたことでした。

一番、印象に残ったことは、参加した人々の「肌の色」です。いわゆる「白人」と思いき方は、本当に少なかった。米国や西欧からの参加者も、その多くがアジアあるいはアフリカ系と思いき外見でした。「世界」の様相は、確かに変わったのだと、実感したことでした。(↓写真:ブルー・ミュージック・クワイヤー)

<国際大会の詳細報告は次月号に掲載いたします>



8月第一例会報告

日 時 8月28日(金) 18:30~20:30

場 所 YMCA 石巻センター/オンライン

司 会 書記 川上直哉

- | | |
|--|----------|
| 1. 開会点鐘 | 会長 阿部かよ子 |
| 2. ワイズソング・ワイズの信条 | 一同 |
| 3. ゲスト・ビジター紹介 | 司会 |
| 4. 会長あいさつ | 阿部かよ子 |
| 5. 今月の聖句・食前感謝 | 川上 直哉 |
| 6. 食事と懇談 | |
| 7. ゲストスピーチ 女川町教育委員会 坂本忠厚先生 | |
| テーマ:「百人一首一競技かるたの秘密」 | |
| 8. 諸報告: ①YMCA 報告②第一回北東部評議会報告 | |
| ③親子まるとと支援講演会報告④2026 熊本地震救援・復興支援募金・ベネズエラ地震救援募金協力⑤ | |
| 第8回ふくしま YMCA 設立準備委員会⑦その他 | |
| 9. ハッピーバースデー | |

20日: 石田信正さん 31日: 石井龍子さん

10. ニコニコ 11,500円 会計

「2026 熊本地震・ベネズエラ地震支援募金のために」

11. 閉会あいさつと点鐘 会長 阿部かよ子

8月第一例会の概要

2026年8月28日18時半から、例会が行われました。

今回は女川町教育委員会の坂本忠厚先生から、「百人一首一競技かるたの秘密」と題して、楽しい時間を賜りました。女川町出身の坂本先生は、全日本かるた協会6段、宮城県かるた協会でも役員を務めておられます。小学校教諭・校長先生を長くなされたご経験から、「たのしく」百人一首を体験して覚える、全員参加型の時間となりました。「いぬもあるけば・・・棒に当たる」のように、言い馴染み・聞き馴染むと、自然と百人一首が身につく、ということを、体感したことでした。

多くのご支援の中、先の6月に東日本区大会を終え、たくさんの経験を次へ生かす段階にある今です。その大切なことは「たのしく」ということだと、なるほど、よくわかったような気がしました。素敵な例会となりました。(報告: 川上直哉)
(↓坂本先生による百人一首体験の様様)



9月拡大役員会報告

日 時 2026年9月4日(金) 19:00~20:30

場 所 石巻センター／オンライン

出席者 川上直哉、石井龍子、清水弘一

1. 開会点鐘 川上書記

2. ワイズソング 一同

3. 会長あいさつ なし

4. 軽食 なし

5. 報告事項

(1) 8月第一例会の開催報告

日 時 2026年8月28日(金) 18:30~20:30

場 所 YMCA 石巻センター

内 容 ゲストスピーカー 女川町教育委員会 坂本忠厚先生

テーマ:「百人一首一競技かるたの秘密」

諸報告 ①仙台 YMCA 報告②第一回北東部評議会報告③親子まると支援講演会報告④2026 熊本地震救援・復興支援募金・ベネズエラ地震救援募金協力について⑤第8回ふくしま YMCA 設立準備委員会⑥その他

出席者 青木満里恵、阿部かよ子、石井龍子、大林健太郎、川上直哉、川上恵、半澤明美、清水弘一、千葉徳正、郷内宣子、関川祐一郎(Z)、大野勉(Z)、大野智恵(Z)、坂本忠厚、阿部洋子、大壁陽子

(2) 東京多摩スマイル10周年記念感謝会

日 時 2026年8月23日(日) 16:00~17:00

場 所 オンライン(ZOOM)

参加者 阿部かよ子、川上直哉、清水弘一

(3) 十勝クラブ50周年記念例会

日 時 2026年8月29日(土)

記念式典 15:30~16:30 懇親会 16:30~18:30

場 所 グランピングリゾート・フェリーエンドルフ

参加者 加藤雄一、清水弘一、東西日本区約100名

6. 協議事項 書記 川上直哉

(1) 9月第一例会の開催について

日 時 2026年9月25日(金) 18:30~20:30

場 所 YMCA 石巻センター

内 容 ゲストスピーカー 生涯発達研究所 TANE 代表/対話的書家・教育デザイナー 櫻井育子氏
テーマ:「子どもの育ちを支える仕組みをフランスに学ぶ」

その他 公開講演会(チラシ参照)

(2) 第75回ペナン国際大会(マレーシア)に参加について

日 時 2026年9月10日(木)~9月13日(日)

場 所 ペナン/St Giles Wembley Penang

参加者 川上直哉、ソヨド・アブドウル・ファッタ、清水弘一、後藤直美

(3) いしのまき健康いきいき教室開催の案内(別紙案内チラシ参照)

日 時 9月25日(金) 10:00~11:30

10月02日(金) 10:00~11:30

場 所 新蛇田集会所

会 費 500円

(4) 十勝ジャガイモファンド申込・販売について

- ・申し込み:2026年10月9日(金)
- ・商品引き渡し開始:10月27日(火)~
- ・販売価格:①じゃがいも 10kg 3,000円
②かぼちゃ 10kg 3,500円
③3種詰合せ 10kg 3,500円

(5) YMCA チャリティーラン2026の開催

日 時 2026年9月27日(日) 9:00~14:00

場 所 仙台市西公園

参加者 川上恵、清水弘一、半澤明美

(6) 北東部フォーラム開催について

日 時 2026年10月3日(土)~4日(日)

3日 13:00~ 4日 10:00~

場 所 3日:新松葉旅館(飯坂温泉)

4日:コラッセ福島

登録費 3日:10,000円 4日:5,000円

(7) もりおかクラブ20周年記念式典への参加の件

日 時 2026年11月15日(日) 14:00~19:00

場 所 岩手県公会堂/じよ居

参加者 川上直哉、清水弘一

(8) クラブブリテン9月号の発行について

- ・発行日:2026年9月24日(木)
原稿締め切り:9月19日(土)
- ・内 容:①9月号巻頭言(国際大会に参加して)
②8月第一例会報告(川上)
③YMCA 報告(半澤)
④熊本地震支援活動報告(尾木)

(9) もりおかクラブ井上修三ワイズ逝去への対応について

- ・前夜式:9月12日(土) 19時 内丸教会
- ・告別式:9月13日(日) 13時 内丸教会
- ・火葬式:9月04日(金) 11時 やすらぎの丘
- (10) その他
・今年度クラブ会費納入のお願い

7. 閉会あいさつと点鐘

川上書記

9月第一例会 SPEAKER/講師プロフィール

お名前 櫻井育子（さくらい いくこ）様

生涯発達研究所 TANE 代表/対話的書家・教育デザイナー

テーマ：「子どもの育ちを支える仕組みをフランスに学ぶ」



特別支援学校教員を経て、教育・福祉・心理・表現の領域を横断しながら、人の育ちと学びについて実践と研究を続ける。障害のある子ども・若者との活動、学校教育、相談支援、地域での社会教育など

に長く関わり、現在は「支援する/される」「教える/教わる」といった関係そのものを問い直しながら、一人ひとりの存在を起点とした教育や社会のあり方を探求している。

クラブスケジュール（9月～12月）

プログラム名	月 日	場 所
YMCA チャリティーラン 2026	9月 27 日(日)	仙台市西公園 9:00～
北東部フォーラム	10月 3 日(土) ～4 日(日)	3 日:飯坂新松葉旅館 4 日:コラッセ福島
クラブ 10 月拡大役員会	10月 9 日(金)	石巻センター
YMCA チャリティーゴルフ	10月 15 日(木)	松島チサン CC
ふくしま YMCA 設立準備委員会（第 9 回）	10月 19 日(月)	福島主のあしあとキリスト教会 13～14 時
クラブ 10 月第一例会	10月 23 日(金)	石巻センター
いしのまき健康いきいき教室	11月 6 日(金)	新蛇田集会所 10:00～
まきびと園／石巻センター避難訓練	11月 11 日(水)	まきびと園 11:30～
クラブ 11 月拡大役員会	11月 13 日(金)	石巻センター
もりおかクラブ 創立 20 周年記念例会	11月 15 日(日)	岩手県公会堂 居酒屋「じょ居」
韓国揚州 YMCA 交流	11月 16～19 日	韓国揚州 YMCA
クラブ研修旅行	11月 22～23 日	一関市
クラブ 11 月第一例会	11月 27 日(金)	石巻センター
YMCA クリスマス会	12月 4 日(金)	旧市民会館 18:00
いしのまき健康いきいき教室	〃	新蛇田集会所 10:00～
クラブ 2026 クリスマス会	12月 18 日(金)	場所未定 18:30
クラブ 12 月拡大役員会	12月 24 日(木)	大掃除 13:30 山城町 16 時、栄光 19:30
山城町教会／栄光教会クリスマス		

YMCA 報告



担当主事 半澤 明美

① イチゴワークの実施

9月6日（日）に山元町岩佐農園にて被災地支援のイチゴワークが実施されました。苗を生育させている時に使ったポットなどについている菌などを消毒する作業や、イチゴを摘むときに使うトレイを水で洗う作業が行われました。今回は10月に実施予定です。

② ベネズエラ地震緊急支援募金は8月末で締め切れ、仙台 YMCA では134,495円が集まりました。9月18日に日本 YMCA へ送金されました。

③ 第32回インターナショナル・チャリティーラン2026：9月27日（日）に西公園にてチャリティーランが実施されます。石巻広域ワイズからも協力金をいただき、「東日本区大会大成功でした！石巻広域ワイズ」チームとしてボランティアランナーに走ってもらいます。大会運営は職員をはじめ、ワイズメンやメンバー、そのご家族などすべてボランティアで行われ、収益金は障害のあるお子さんのために使用されます。

<↓写真 いちごワークの様子>



第29回仙台YMCAチャリティゴルフ

日程	2026年10月15日(木) 雨天決行	
会場	松島チサンカントリークラブ松島コース	参加お申込は、こちらから⇒
参加費	お一人様 4,000円	
	※プレー代、売店のご利用は各自でお支払いいただきます。大会の詳細は参加要項を参照	
定員	96名(24組、先着順)	
申込方法	参加ご希望の方はQRコードを読み込むか、仙台YMCA 電話 022-222-7533 までお願いします。 参加要項はWEBページからダウンロードできます⇒ http://sites.sendai-ymca.org/golf/	
主催	公益財団法人 仙台YMCA	
共催	仙台ワイズメンズクラブ、仙台青葉城ワイズメンズクラブ、 仙台広瀬川ワイズメンズクラブ、石巻広域ワイズメンズクラブ	
後援	さとう音楽事務所、松島チサンカントリークラブ	
企画運営	第29回仙台YMCAチャリティゴルフ実行委員会	

仙台YMCAチャリティゴルフは支援を必要としている子どもたちを励ますことを目的に1998年に「仙台YMCAチャリティゴルフ」が始まりました。今年で29回目を迎えるイベントです。

チャリティゴルフでは、参加者からいただく参加費は全額チャリティとして、子どもたちの水の安全をまもるための「ウォーターセーフティハンドブック」配布、全国YMCAボランティアリーダー研修会参加費用助成、仙台YMCA子ども支援基金として役立たせていただきます。

また、当日のイベント運営のみならず計画や準備をすべてボランティアの実行委員によって運営されているのも仙台YMCAチャリティゴルフの特徴です。開催の趣旨をご理解いただき、皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

実行委員長 菊地弘生

大会参加者募集中！

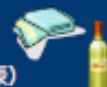
プレーを楽しみながら、チャリティに貢献！大会への参加者を募集しております！お一人様のご参加も大歓迎です。

会場となる泉国際ゴルフ倶楽部は、仙台市内から15km 郊外の泉ヶ岳のふもとの丘陵地にある高低差の少ない恵まれた地形の林間コースです。

コースは、ゆとりある設計でティグラウンドからほとんどのグリーンがピンが見え、フラットで広々としたフェアウェイにフルショットが楽しめ、ホール攻略がしやすく速いグリーンが特徴です。

協賛品のご協力をお願いします！

協賛品をご提供いただける企業、団体、個人の皆様を募集しています。ご寄付いただきました協賛品は大会の賞品として使わせていただきます。協賛品は、お近くのYMCAへお持ち込みいただくか、ご連絡をいただければ取りにお伺いします。



仙台YMCA TEL: 022-222-7533 (代表)

担当: 村井真平・土橋敬太

※食料品、飲料水、商品券、タオル類など何でも結構です。未使用のものに限らせていただきます。

「ブルー・ミュージック」で眠れる巨人を揺り起こす。

アジア太平洋地域 CE 川上直哉

今期の全世界のワイズメンズクラブが目指すテーマは、「ブルー・ミュージック」です。

「ブルー・ミュージック」とは、何でしょうか。いくつかの資料から、わたしはそれを「グレイ・パワー」の対義語として理解しました。

まず「ミュージック」は「パワー」と対比されます。「パワー」は持続的に時間の中に居座り続けます。持続するために、「パワー」はシステムを必要とします。そしてそれは、目に見えるものとなります。これに対して「ミュージック」は、一瞬で消え、余韻の中に永遠を指し示します。

「ミュージック」はシステムを嫌いませんが、システムを必要としません。そして、「ミュージック」は目には見えません。

そして「ブルー」は「グレイ」と対比されます。それは「空の色」をイメージして用いられているようです。「グレイ」な空の下では、天は不透明であり、地上の限界が意識され、体感的には寒さと湿度を伴います。「ブルー」な空は、天の高さをはるかに示す透き通ったもので、地上に住む者は頭上に無限なものを見出し、清々しさと爽やかさを体感します。

「グレイ・パワー」と「ブルー・ミュージック」の間に、様々な「グレイ・ミュージック」があるのでしょうか。「ブルー・ミュージック」はデジタルなものであるよりもアナログなものであるようです。常に「ブルー・ミュージック」へと浄化される歩みがあるのです。それは、キャンプファイアーのイメージに重なるかもしれません。暗い闇の中で、炎が燃えます。その灯に照らされて、無数の「グレイ」が現れます。しかしその影は皆、温かい炎への憧れに向かう思いの中で、ひたすら、私たちの後に延びるものとなります。この憧れの中に、競争はありません。ひたむきな輝きへの思いだけがあります。影を脱しようとする思いが、全てを動かして行きます。いつかきっと、そこにシステムも不要となる。そんな憧れの目指す先に、「ブルー・ミュージック」があります。

私は今、日本における排外主義の影を見つめています。その暗がりの中で、でも、ムスリムの友人が、ワイズのメンバーになってくれました。共に、この暗がりの中に松明を掲げ、瓦礫を積んでキャンプファイアーを灯そうとしています。一緒に、ASEANの友人たちと生きる「ファーム・ヴィレッジ」のヴィジョンを見つめています。小さな火が、今、点きかけています。ペナンで、その小さな灯に、たくさんの風を送り込みたいと思っています。今年のインターナショナル・コンヴェンションで、牧師である私とムスリムの友人が、ブースを設けます。私たちのヴィジョンを見に来ていただければ幸いです。

Awakening the sleeping giant with "Blue Music"
ASD-CE Naoya Kawakami

What is "Blue Music"? From some contexts, I have understood it to be the antonym of "grey power".

First, "Music" is contrasted with "Power". "Power" continues to reside in time. To sustain itself, "Power" requires a system, and it becomes visible. "Music", on the other hand, vanishes in an instant and in its lingering sound, points to eternity. "Music" does not have the system nor needs it. And "Music" is invisible.

"Blue" is contrasted with "Grey". It seems to represent the colour of the sky. Under a grey sky, the sky is opaque, we are aware of the limits of the earth and it feels cold and damp. The blue sky is crystal clear, revealing the height of the heavens and those living on earth can see the infinite above their heads and experience a sense of freshness and lightness.

Between "grey power" and "blue music", there are likely many forms of "grey music". "Blue music" seems more analogue than digital. There is always a movement towards purification into "blue music". It may resemble the image of a campfire: a flame burning in the darkness. In its light, countless shades of grey appear. Yet all those shadows stretch behind us as we long for the warmth of the flame. There is no competition in this longing - only a wholehearted desire for radiance, for glory. The wish to step out of the shadows sets everything in motion. One day, the system may no longer be needed. At the end of that longing lies "blue music".

I am currently facing the shadow of xenophobia in Japan. In that darkness, a Muslim friend of mine has become a member of the "Ya Herts Club". Together, we raise torches, gather the rubble, and try to light a campfire. Together, we look towards the vision of a "Village Farm" where we can live alongside our friends in ASEAN. A small fire has now been lit. I hope to fan that small flame in Penang to something much larger. At the International convention in September 2025, my Muslim friend and I will be hosting a booth. We would be delighted if you visit our booth in Penang to see our vision.

Regional News - Australia Region

Sustain and Grow in Harmony Solidarity
Blue Music Ambassador: PIP Jennifer Jones (YSC Adelaide) and RD Sebastian Mathew (YSC Canberra)

Regional Goals:

- Establishing at least two new clubs
- Expand meaningful community services such as feeding those in need, supporting disadvantaged young people and so on
- Commit to strengthening existing clubs, fostering unity, embracing diversity and expanding the reach of the Ya Herts movement through fellowship and service.
- Build a strong connection with YMCA in Australia.

Recent Programmes & Fellowship:

Adelaide City celebrating the 100th anniversary of the YMCA in Australia. (Left: PIP Jennifer Jones, RD Sebastian Mathew, and other members of the Adelaide City YMCA. Right: A group of people at a community event.)

ペナンでの国際大会会場で、アジア太平洋地域のブリテンが配布されました。
その中に掲載された、川上ワイズの記事の日本語訳を、ここにお分かちしました。